

生活科における昨年度の授業改善推進プランの検証

取り組みにおける成果と課題

- ・ 身近な自然に関心をもち、動植物に積極的に関わることで、様々な気づきを得ることができた。
- ・ 地域の良さに気づき、愛着をもつことができた。
- ・ 周囲の人々との交流を通して、多くの人々の支えがあって安全な学校生活が送れていることを理解できた。
- ・ 季節あそびでは、2年生と1年生が協力しながら、安全に楽しく活動することができた。
- ・ 遊びに使う物の面白さや不思議さに気付いて、試したり工夫したりして遊ぶことが十分でなかった。
- ・ 観察記録における基礎的な事項（絵の描き方、記録文の書き方など）の段階的な指導を継続していく。
- ・ 遊び方や動植物の飼育に関する問題に対し、解決方法を考えたり試したりすることが十分でなかった。

	関心・意欲・態度	思考・表現	気づき
分析	<p>学校探検や町探検、地域の自然・施設での活動では、身近な人々や地域に関心をもちとともに、自分の行動の仕方について考え、適切に行動できた。</p> <p>身近な動物や植物などの自然との関わりをもち、世話をしたり育てたりする楽しさを味わうことができた。</p>	<p>学校探検や町探検、地域の自然・施設での活動を通して、気付いたことや楽しかったことを言葉や絵で表現できた。</p> <p>動植物を観察し、気付いたことを観点に留意して観察カードに表現できた。</p> <p>成長の様子について、自分なりの方法でまとめて観察記録とすることができた。</p>	<p>町探検や公園遊びを通して、地域の良さに気づき、愛着をもつことができた。</p> <p><u>季節遊びや、昔遊びなどで1・2学年で交流しながら活動することで、多種多様な気づきを得ることができた。動植物の世話や観察を通して、生命の大切さや成長していることに気付くことができた。</u></p>
課題	<p>自然との出会いの機会を日常的にもつことができるように声かけし、関心・意欲・態度が継続するようにしたい。</p> <p>動植物の観察については、継続的に観察できるよう、時間数や日常的な報告・振り返りの場の確保も課題である。</p> <p>多くの人々との関わりの中で、自分が大きく成長したことに気づき、喜びや感謝の気持ちをもつとともに、自分の成長へ意欲や希望をもたせたい。</p> <p>自分を取り巻く環境を理解して、さらに安全で適切な行動ができるようにしたい。</p>	<p>国語、図画工作等との連携を積極的に図り、合科的な指導を行うことで、理科、社会科の学習へとスムーズに繋がるようにすることが課題である。また、<u>成長を支えてくれた人の存在に気づき、感謝の気持ちを自分なりの方法で表現し、伝えることができるようにしたい。</u></p>	<p>自分の成長には多くの人の支えがあったことやこれからも多くの人に見守られて成長していくことへの気づきが不十分であった。</p> <p><u>遊びに関する工夫や分析を行い、試行錯誤する中で自然の面白さや不思議さに気付いていくということが必要である。</u></p>
改善策	1年	<p>一人一人が、自分の発見や思いを話せるように励ます。自然のもので作って遊んで工夫することができるようにする。</p> <p>具体的な活動や体験を通して気付いたことを基に考えさせるため、見付ける、比べる、たとえば等の多様な学習活動を工夫することができるようにする。</p>	<p>自分と身近な動植物とのかかわりに関心をもち、自然のすばらしさに気付けるようにする。そのためにも、1, 2年生を通して、生活科の学習時間だけでなく、<u>動植物や自然に関心をもてるように、係活動や朝の会、帰りの会の時間を使って日常的に気付いたことの報告や成長の振り返りが行えるようにする。</u></p> <p>得意なこと等の発表を通して、友達の成長に気づき認めようとするようにする。</p> <p>あるものを活用して遊び方を工夫しながらみんなで仲良く遊ぶ経験を積む。</p>
	2年	<p>自分が大きくなって、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどが分かり、今まで以上に意欲的に生活できるように、具体的な体験を引き出す授業の工夫をする。</p> <p>様々な種類の動植物を育てる中で、生き物には毎日の世話が不可欠であることを実感させ、家庭の協力も求めながら、育てる責任・楽しさを感じられるようにする。</p> <p>学校の施設の様子や通学路の様子に関心をもち、その安全を守っている人々に感謝し、安全な登下校ができるようにする。</p>	<p>一人一人の声をよく聞き、小さな気づきでも、授業で取りあげ話題にして、より多くの気づきができるよう声をかけていく。</p> <p><u>自分と身近な人々との関わりを意識させることで、多くの人に見守られて日常生活が送れているという実感がもてるようにする。家族や仲間から、自分の成長の様子を聞いたり、自分で記録したりして感謝の気持ちを伝えられるようにする。</u></p> <p>観察の際の観点を明示し、気づきを表現できるように指導する。</p>